

元気な地域づくり活動支援事業

事業評価シート（内川地区）



五城目町まちづくり課

小倉 町内会

人口	29人	世帯数	15世帯	高齢化率	48.3%
小倉町内会ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化により、多く行事がなくなった。 ・町内会活動の停滞が続いている。 ・生活や町内活動の拠点となっている公会堂が老朽化、改修が必要。 ・美しい景観保全、小倉セリ栽培の継続など多くの課題がある。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絆を深め、みんなが集まって活動する町内会を目指します。 ・住みやすく、みんなが笑って暮らせる町内会を目指します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修（窓枠取替、外壁全面塗装等） ・町指定文化財「かすみ桜」の周辺整備 ・運動会、七夕、盆踊りを復活し、他出者との交流も推進する。 ・雪かき支援やGBビジネスとして「小倉セリ」「小倉わらび」販売の可能性を検討する。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 外壁改修工事（既存外壁解体、GLサイディング110㎡） 屋根葺替工事（玄関屋根葺替、霧除け屋根葺替） サッシ改修（正面3ヶ所、南側6ヶ所、北側6ヶ所） キッチン改修（流し台設置、ステンレス加工） 板金工事（玄関破風）、その他（窓枠塗装等） ・備品整備 体温計、血圧計、座椅子、チェア
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁が新しくなり、見た目も良くなった。浮いた色ではなく、周りの景観に合った色合いであると思う。 ・サッシを交換したことより、隙間風などの問題が無くなった。 ・窓数も増え、明るくなり、流し台の改修は女性陣に好評であった。 ・高齢者にとって利用しやすい環境整備のため座椅子などの備品を配備、多くの町内住民から好評を得た。 ・血圧計などについては、町内住民の健康管理を目的として配備、若妻会などを主体とした健康教室でも活用が期待できる。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・備品を有効活用するため健康教室の進め方について工夫していきたい。 ・改修した集会所は、これからの町内会活動の拠点として利用促進を図る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所を利用している高齢者からは、1日ゆったりと過ごせるようになったと好評を得ている。絆を深め、みんなが笑って暮らせるとした目標に向かって前進することができた。 ・月に1度のわらび会の集まりだけでなく、集会所を拠点とした集まりを増やしていきたい。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（かすみ桜整備） ・一般伝統行事（収穫感謝祭、七夕まつり） ・健康づくり（健康教室） ・農産物販売等（セリ栽培体験）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町指定文化財である「かすみ桜」の周辺の道路整備、草刈り等により景観美化が図られた。（かすみ桜整備） ・セリ栽培体験教室で収穫したセリを囲んで地域交流を図った。体験教室に参加した他出者とも意見交換しながら、小倉のセリが地域のお宝という共通認識を持つことができた。（収穫感謝祭） ・伝統行事の復活、子供たちの参加により、地域が明るくなった。会場の整地についても参加者から好評をいただき、次年度以降の行事継承を図ることができた。（七夕まつり） ・集会所改修されたことで、参加者増につながった。（健康教室） ・他出者も町内活動に参加しやすい環境づくりを進めた。収穫感謝祭と連携することで、より交流を深めることができた。（セリ栽培体験）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩道の整備を継続し実施していく。地域のお宝である「かすみ桜」の保護活動を通じて、地域住民の絆を強めていきたい。（かすみ桜整備） ・町内会からの出費と他出者からは会費の徴収などを検討しながら、次年度以降も継続していくこととした。地域資源を活かした交流事業からGBビジネスへのチャレンジにステップアップしていきたい。（収穫感謝祭） ・次年度以降も町内会において予算に組み入れ、継続して実施していきたい。（七夕まつり） ・サロンと合わせ、今後も集会所を中心としたコミュニケーションの場づくりを進めていきたい。（健康教室） ・今後は、参加者各自に田んぼを割り当てるオーナー制度を導入して、より「小倉のセリ」に愛着を持たせるよう工夫していきたい。（セリ栽培体験） ・本事業活用により、集会所が整備され、各行事を運営していくための備品も整備することができた。今後、町内会活動を活性化していくため、誰でも参加できるような事業を考えて、計画していく。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・かすみ桜、小倉のセリという地域のお宝、地域資源を活かしながら、交流事業を推進することができた。

黒土 町内会

人口	83人	世帯数	31世帯	高齢化率	48.1%
黒土 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増え、日常生活や除雪支援等が必要となってきた。 ・町内交流の機会が少なくなってきた。 ・災害に対する意識が低い。 			
	目標	・黒土に住んで良かったと思える町内会を目指します。			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修と備品整備 ・イルミネーション装飾 ・収穫感謝祭の実施 ・ふれあいサロンの充実 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 舞台補修、洗面台設置、網戸取付、ステージ壁補修、天井塗装、外構工事 ・備品整備 座布団30、ガス湯沸器1、スタンドミラー1、カーテンレール3 楽座椅子10、ホワイトボード1、液晶テレビ1、BDプレーヤー1 シアターラック1、LED照明器具8、LED照明2、電子レンジ1 HDMIケーブル2
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージを補修、室内の美化が保たれ、事業における活用範囲が広がった。 ・天井塗装により、室内全体が明るくなり好評である。 ・集会所回りのコンクリート舗装、側溝補修を実施し、ぬかるみが解消、除雪作業の効率化にもつながった。 ・網戸取付により夏場も快適に会合、行事ができるようになった。 ・テレビ、ホワイトボードは防災活動（防災教室）、健康教室など幅広い活用ができています。 ・LED化により室内全体が明るくなり、コスト削減に効果あった。 ・座椅子、座布団の配備により高齢者が快適に過ごせるようになった。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラブ（婦人会、シルバークラブ等）と協議しながら、より良い集会所の運営にあたっていく。 ・施設備品等の補充を計画的に実施していく。 ・利用数が増えているため、ランニングコストが高くなってきている。町内の世帯数の減少もあり、今後の財源確保について検討する必要がある。
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（町内美装運動、冬季イルミネーション） ・一般伝統行事（盆踊り大会） ・生活支援活動（地域支援隊活動事業） ・地域ふれあい（収穫感謝祭、ふれあいサロン）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・イチョウのライトアップ、冬季イルミネーションは風物詩として地域に定着した。メディア等に活動が取り上げられ期待以上の反響があった。残したい里山100選にも選ばれ、地域住民の美化意識が向上され、大きな成果があった。（町内美装運動、冬季イルミネーション） ・子どもを対象としたゲームや太鼓たたき体験、屋台設置等の工夫により、予想以上の参加があり盛会であった。地域住民、帰省者の交流を深めることができ、有意義な事業となった。（盆踊り大会） ・自主防災組織を中心として、災害訓練や高齢者世帯への除雪支援を実施。地域ぐるみの災害対策についての体制が強化された。（地域支援隊活動事業） ・防災訓練後に開催することで多数の参加があった。意見交換しながら住民交流を深めることができた。（収穫感謝祭） ・住民交流を目的として開催、祭典時の紅白幕づくりやカラオケ等にて親睦を深めることができ、参加者より好評を得た。（ふれあいサロン）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・個人による協力も増えてきており、町内全体として事業を拡充していきたい。備品の損傷もあり、今後の修繕、更新費用のための財源確保が必要。（町内美装運動、冬季イルミネーション） ・1日開催となり地域に定着、伝統行事の継承に努める。（盆踊り大会） ・今後も定期的に防災訓練、避難訓練を実施し、初期消火や避難場所等についての確認を明確にしていく。除雪活動は役員が主体として実施してきたが、今後は自主防災組織、消防団を主体とした体制整備を検討したい。除雪支援にかかる除雪機の維持管理費、燃料費の確保が必要。（地域支援隊活動事業） ・今後も防災活動と連携する等、新たな収穫感謝祭の方向を検討し内容の充実に努めたい。（収穫感謝祭） ・内容の充実に図りながら事業を継続させていく。紅白幕の補修は継続して実施していく。高齢者世帯へのアプローチ方法の検討が必要。（ふれあいサロン）
その他	

湯ノ又 町内会

人口	243人	世帯数	100世帯	高齢化率	52.6%
湯ノ又町内会ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の同居割合が低く、一人暮らしや空き家が増えることが懸念される。 ・集落の活力が年々低下している。 ・住民みんなで課題解決に努めなければならない状況にある。 ・老朽化した公民館を改修し、快適に過ごせる環境整備が必要 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絆を深め、美しい景観を維持し、将来に希望が持てる地域づくりを目指します。 ・安全、安心に暮らすことができる地域づくりを目指します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修（トイレ改修、窓枠取替、備品整備） ・多くの住民が集う、盆踊りを継承するため、会場整備や備品整備を行う。 ・健康教室、高齢者ふれあいサロンの開催 ・自主防災活動研修 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 正面玄関改修、1階談話室ドア取替え、1階トイレ改修簡易水洗化 1階休憩室改修（和室を通路に改修） 2階和室改修（畳取替え、内窓サッシ取替え） 屋根・外壁塗装、窓枠塗装、 1階会議室改修（天井塗装、カウンター設置、樹脂サッシ、網戸設置、照明器具、シーリングファン）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・10数年ぶりに屋根塗装を実施、建物の老朽化を防ぐことができたほか、建物の美観も保つことができた。 ・トイレの洋式化、簡易水洗化により、清潔感が増し、住民から好評を得た。 ・正面玄関バリアフリー化、1階和室改修により、車椅子の方も公民館を利用できるようになった。 ・2階和室は、公民館内で最も利用の多い部屋であり、畳の新調、内窓サッシ、網戸設置など室内環境が改善され、これまで以上の利用が期待できる。 ・初めて建物の外壁塗装を実施、建物の老朽化を防ぐことができたほか、建物の美観も保つことができた。 ・1階会議室は、室内全体が暗いイメージであったが内壁、天井を白色塗装したことで明るい雰囲気の一部に一新した。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に渡る大規模改修により、公民館の寿命が長くなったほか、エアコンなどの空調設備を設置できたことで、施設機能が充実した。 ・今後はより多くの地域住民から活用していただくような取り組みを考える必要がある。 ・ランニングコストが増えることとなるため、管理費予算の財源の確保を協議する必要がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで自主財源不足から大規模な改修を実施できなかったが、町補助金、町内会基金取崩によって集中的に実施できた。次世代の住民に対して大きな貢献ができたものとして捉えている。今後は、健康教室の開催など、公民館を活用した新たな行事を検討し、町内住民のふれあい交流の拠点としたい。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般伝統行事（盆踊り大会、会場整備・太鼓修繕） ・生活支援活動（自主防災組織構築会議、防災訓練活動、先進地視察研修） ・健康づくり（ふれあいサロン、健康教室、水中運動教室支援）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓の修繕、会場整備等により盆踊りの継承活動が行いやすくなった。（盆踊り大会） ・自主防災組織設置に対する機運が高まり、平成28年度に設立することが確認できた。（自主防災組織構築会議、先進地視察研修） ・自主防災活動の必要性、住民同士の連携の大切さを考える機会となった。（防災訓練活動） ・公民館改修により、高齢者も集まりやすくなってきていること、健康への関心が年々高まっていることを確認できた。（ふれあいサロン） ・笑い与健康づくりをテーマに開催、これまでにない参加を得て盛会となった。多数の参加者に改修した公民館、備品整備を確認してもらう機会ともなり、利便性の向上を体験してもらうことで、施設の利用促進につなげることができた。（健康教室） ・介護予防教室に参加した方からは、教室が楽しみであった、成果が出たとの声があり、この体験を基にして、周囲に声掛けすることが容易にできたようである。（水中運動教室支援）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・修理した太鼓を適正に管理するとともに、今後の修理のため資金を積み立てるなど、郷土芸能の保存育成に努めたい。（盆踊り大会） ・自主防災組織を設置し、地域の安全安心な暮らしに努める。（自主防災組織構築会議、先進地視察研修） ・今後は、湯ノ又町内自主防災会が主体となり、訓練を毎年1回実施して、防災に対する住民意識の高揚に努める。（防災訓練活動） ・今後も健康づくりに関する講話などを開催し、高齢者も地域づくりに積極的に参加する機運を盛り上げるような内容としていくことを町内会で確認した。（ふれあいサロン、健康教室、） ・参加者のPR活動は今後も継続する。町内会としても多くの住民が水中運動教室に参加できるよう環境づくりを進める。（水中運動教室支援） ・設立した湯ノ又町内自主防災会が主体となって防災活動に取り組むこととなるが、町内会も積極的な連携により地域住民の暮らしの安全・安心の確保に努めていく必要がある。 ・3年連続して実施したふれあいサロンは、大変好評であり、今後も継続実施できるように、参加者負担をお願いし、町内会予算の出費を抑える対応を検討する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・湯ノ又ビジョンに基づき、公民館改修を主体として、健康づくり（サロンなど）、盆踊り大会継承（広場づくり、太鼓修理等）、自主防災対策（組織設置、訓練等）を計画的に実施することができ、目標として掲げた「将来に希望が持てる湯ノ又」、「安心・安全に暮らせる湯ノ又」のベースを築くことができたものと評価している。

浅見内 町内会

人口	250人	世帯数	115世帯	高齢化率	60.4%
浅見内 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、過疎化が今以上に進むことから、町内会活動の維持が大変である。 ・若い世代にも活動に対する興味、関心を持たせたい。 ・地域財産（山林など）の活用を整理する必要がある。 ・地域活動推進のため、老朽化が著しい公民館の改修が必須となっている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に愛着を感じて、自分ができることを自ら楽しみ、声を掛け合いながら元気に暮らせる町内会を目指します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修（トイレ改修、外壁改修等） ・防災委員会を立ち上げるなど、集会所を避難場所として利用する。 ・景観保全（花だんづくり、清掃活動） ・七夕、盆踊り、百万遍、花見会の開催 ・買い物バス運行、健康教室開催 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 既存トイレ棟解体、改修工事、内外部造作工事（新設トイレ部分） アルミサッシ工事（新設トイレ部分）、木製建具（新設トイレ部分）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の高いトイレ改修を実施できた。洋式化、簡易水洗化により清潔感が増し、町内住民から好評を得た。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・2階への階段は高齢者にとって負担が大きく、1階の部屋での行事開催を望む声が多いが、収容が限られており、今後の対応を考えていく必要がある。 ・施設全体が老朽化してきていることから、今後も計画的な改修等を行う必要がある。その財源確保のため、毎年度所要額を積み立ていく計画である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを心配することなく行事に参加できることは、想像以上に大きなものがあると感じた。公民館の利便性が増し、地域住民にとってより身近なものとなったと思われる。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（清掃活動等、花壇づくり、クリスマス電飾） ・一般伝統行事（花見会、百万遍、七夕まつり、盆踊り、カルタ会） ・生活支援活動（ふれあいサロン、折り紙と塗り絵） ・健康づくり（高齢者体力づくり、健康教室） ・地域ふれあい（買い物バスツアー） ・情報発信（町内会だより、掲示板設置）

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の協力のもと、町内の景観美化が図られた。（清掃活動等、花壇づくり、クリスマス電飾） ・町内の夏の伝統行事の継承を図るとともに、地域住民、帰省者との交流を深めることができた。（七夕まつり、盆踊り大会） ・地域の行事として浸透、いずれも多数の参加を得て盛会、地域交流が深められた。花見会では、会場（内川保育園跡地）の景観美化にもつながった。（花見会、カルタ会、百万遍） ・みせっこあさみないを会場として実施することで、より雰囲気良く、多数の方とコミュニケーションを図る機会とすることができた。（ふれあいサロン、折り紙と塗り絵） ・屋内温水プールの中運動教室を利用し、町内住民の健康増進を図ることができた。認知症についての学ぶ教室開催についても町内住民の関心が高く、有意義なものとなった。（高齢者体力づくり、健康教室） ・地域住民の親睦が深められ、地域課題について意見交換できた。（買い物バスツアー） ・情報の周知が図られ、町内会活動への関心を高めることができた。（掲示板の設置、町内会だより発行）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も季節折々の美しい町内環境を維持していくため継続する。（清掃活動、花壇づくり、クリスマス電飾） ・町内の伝統行事であり、今後も継承していく。（七夕まつり、盆踊り） ・健康づくりとしてのウォーキングと掛け合わせるなど事業に工夫を凝らしながら継続させていきたい。（花見会） ・浅見内独自の手づくりによるカルタを使用することで、地域への愛着にもつながっており、今後も継続していく。（カルタ会） ・店舗と公民館が並立しており、様々な形でサロンや教室を開催することができるようになった。今後も事業を継続していく。（ふれあいサロン、折り紙と塗り絵） ・地域に店舗が創設されたことから、今後は交流事業として内容を検討する。（買い物バスツアー） ・水中運動教室に加え、ウォーキングなど地域住民の健康増進に資する事業を計画していく。（高齢者体力づくり、高齢者健康教室） ・掲示板と町内会だよりを併用し、相乗効果を図りたい。イラストなどを工夫し、分かりやすく親しみやすい情報発信に努めるとともに、掲示板の維持管理に努める。（町内会だより、掲示板の設置） ・事業を実施するごとに住民同士の支え合いの姿がみられるようになった。今後の生活では特に必要なことであり、町内会活動を通じて地域を元気にしていきたい。 ・各事業とも顔を合わせることで互いに元気をもらっている。参加者が少なくともそれぞれ有意義であるが、限られた経費のなかで最大限の事業効果をあげられるよう、互いに参加を呼び掛け合うような絆づくりが必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な参加があり、自ら毎日の生活を楽しもうとしていた。